

1月の予定

主 題	あしたもしようね
ねがい	<ul style="list-style-type: none"> ・手や指を十分使って遊ぶ。 ・冬の生活習慣を知る。 ・保育者や身近な友だちとのつながりが深まる。

聖 句 おのこの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆく。
エフェソの信徒への手紙 4章 16節

クリスマスの光の中で 2013 年から 2014 年を迎えます。

ひとりひとりの心の中にイエスさまが生まれました。神さまの愛は、イエスさまを通して豊かに示されています。心の中にイエスさまをお迎えした私たちは、イエスさまの光、愛を土台として、その光と愛が広がっていくように、おとなも子どももイエスさまの子どもとして過ごしたいと思います。私たちはひとりひとり神さまからそれぞれに賜物をいただいています。お互いが、その賜物の違いを受け入れ、認め合い、互いに補いあうとき、成長していくのではないのでしょうか。



予 定

日	曜日	予定	備考
8	水	第三学期始業式	
10	金	1月誕生会	
15	水	読みきかせの会	
17	金	おもちつき	
		個人懇談	12:00 降園
20	月	個人懇談	12:45 降園
22	水	全園児ランチあり	
		年長すみれ組食育の会 (園児のみ)	



● 歯みがき指導

21	火	年長すみれ組	
28	火	年少ひまわり組	

● こひつじの会

ランチのある日 (20日、22日を除く)



クリスマス物語の中で、天使は神さまのことばを人々に伝えました。マリアは、天使の言葉を心にとめて神さまからの言葉を受け入れました。ヨセフは、夢で現れた天使の言うとおりにマリアを妻として迎え入れました。イエスさまの誕生を聞いた羊飼いたちは急いでイエスさまに会いに行き、見聞きしたことが天使の言った通りだったのでそのことを喜んで人々に伝えました。また、博士たちは星に導かれてイエスさまに会い、自分たちの大切な宝を捧げ、その後、今までの歩んできた道には戻らず、別の道…イエスさまの道を行きました。それぞれが自分ができる形で神さまの愛をあらわしていったのです。私たちもそれぞれできることがあります。イ私たちもイエスさまが心の中にくださることを忘れず、また、クリスマスを通してまだ会ったことのないお友だち、困っているお友だちのことを考えたことを忘れず、これからも、自分たちのことだけでなく隣人に対して、思いやりを持って過ごしていきたいと思います。

年 長	すみれ組	年 中	チューリップ組	年 少	ひまわり組
<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み中の経験をわかるように話す。 ・自分の考えを相手にわかるように伝える。 ・寒くても戸外に出て身体を動かして遊ぶ。 ・お正月のあそびを楽しむ。 ・おもちのできるまでの様子を見る。 ・おもちつきの経験をする。 ・冬の自然に興味、関心を持つ。 ・さまざまなことに目を向け、気づく心を持つ。 ・わたしたちはいのちをいただいて生かされていることを感じ、感謝の気持ちを持つ。 ・わからないことや不思議に思ったことを調べる。 ・楽しく歌ったり、ことばの意味を考えながら表現したりする。 ・新しいカレンダーに関心を持ち、一日一日を大切に過ごす。 ・自分たちで話し合い、のげやまワールドの準備をして行く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを話したり聞いたりする。 ・思いきり身体を動かして遊ぶ。 ・みんなで一緒に活動することの楽しさを知る。 ・お正月のあそびを楽しむ。 ・新しくなったカレンダーに興味を持つ。 ・友だちとのつながりを深める。 ・おもちつきの経験をする。 ・冬の自然に関心を持つ。 ・冬の衛生に気をつける。 ・たくさんの本や紙芝居に親しむ。 ・のげやまワールドの話聞き、楽しみにしながら準備をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思いきり身体を動かして遊ぶ。 ・追いかけたり、追いかけられたりすることを楽しむ。 ・乗り物遊びなどを通して、順番や簡単なルールを知る。 ・自分の思ったことや感じたことをことばや態度で伝える。 ・お正月のあそびを楽しむ。 ・冬の衛生に気をつける。 ・冬の自然にふれる。 ・曲にあわせて歌ったり、踊ったりする。 ・たくさん絵本や紙芝居に親しむ。 ・おもちつきを経験する。 ・のげやまワールドの話聞き、楽しみにしながら準備をする。 	

